

## 第 4 号議案

認定 NPO 法人エッジ

総会資料

2020事業計画

全般:

6 月にAPDF2020 を迎える。このフォーラムを機に日本国内とアジア太平洋におけるディスレクシアのネットワークを構築していきたい。2021 年 10 月にNPO設立して 20 周年を迎えるのでその準備に入りたい。

広報:

WEBサイトの活用、SNSの活用、月一回メルマガ発行、年 3 回ニュースレター発行他従来の活動に加え、SNSやYoutubeの活用を拡充する。

MOOC:

英語(ロンドン大学)コースは Coursera 上で日本語の字幕が入っている。従来通りに継続。テキスト販売に力を入れる。

「子どもの味方の教え方」はFISDOM上での運用が7月まで。星槎大学の履修証明プログラムへ組み込むことを考える。同名の講座を開きテキスト販売に力を入れる。

BEAM:

文部科学省から委託を受けて教科書の音声化を行っている。利用者の数は 300 人弱である。2021 年が中学校の教科書の改訂年にあたるため、体制を整える。外国につながるのある児童生徒への活用、学校図書館における活用に取り組む。

ジョリーフォニックス:

英国から山下桂世子氏を主任講師に招き、日本で唯一ディスレクシアの児童生徒に直々にアルファベットと 42 の音を 10 日間で学ぶコースを運営する。これまでの修了者を対象にフォローアップ講座を開設する。

LSA(学習支援員)養成講座:

入門講座 150 名、コンコース 30 名新規受講。これまでの受講者(計 161 名)のコミュニティーを作る。フォローアップ講座を充実していく(例えば長沼先生のHSP、奥村先生の視覚と読み書き、な

ど)。ビデオ撮影+編集を内部で行う。

APDF2020:

6月6日と7日に岡山コンベンションセンターにて開催。UNESCO本部よりHEIKKI LYYUTINE N博士が参加。一般から専門家まで何か気づきを持って帰っていただけるよう企画中。

DXセミナー:

大庭理事が講師となって、1時間ディスレクシアの基本についての話と続く1時間で参加者とのフリートークの時間を設けている。フォローアップで留学について、英語についてなどを企画している。

DX会:

成人ディスレクシア当事者が各自持ち回りで、屋外で活動を行う。自然観察、施設訪問等実施する。

その他

相談、アセスメントに本格的に取り組む。現在東京都福祉保健財団の助成金に応募して最終候補になっている。アセスメントをして、意見書を渡し、結果学校における「合理的な配慮」が受けられるようになるよう枠組みを構築していく。

大森ロータリークラブより大田区の通級の先生方への出張講座を企画中。